

○オンライン授業とは

オンライン授業とは、インターネットを使った遠隔授業のことで、大きく分けると2つの型があります。二つの型の、メリット(◎)とデメリット(×)は次の通りです。

「オンデマンド型授業」(YouTube配信、ミライシードなどを活用する)

インターネットに設置した資料や、写真、音声、動画などの教材を見ながら、配布された課題等を学ぶ授業。

◎時間にとらわれずに学習することができます。

◎繰り返し学習することができます。

×参加者の学習状況を教師がすぐに把握することが難しくなります。

「同時双方向型授業」(ZOOMなどを活用する)

Webカメラ(タブレット内蔵カメラ)とマイクを使い、教室で対面して行う授業に近い形の授業。

◎通常行われている授業を離れた場所で受けることができます。

◎授業の様子や参加者の状況を把握することができます。

×トラブルが発生した場合はすぐに対処する必要があります。

×参加者は自分のプライバシーが漏洩する危険性があります。

×実際に対面した交流ではないため、思いがけず他の参加者の人権を侵害する危険性があります。

学校にいらなくても学習できるという点でオンライン授業は大変便利ではありますが、やはり通常の対面授業とは異なった性質を持っています。特に、低学年においてはタブレットの操作に慣れていないどころか、漢字、ローマ字、アルファベットが未習熟のまま学習に向き合わなくてははいけません。また、高学年でもタブレットを操作しながら集中して“学習”に向き合うことは難しいものです。パソコン画面を長時間見つめることに対する健康面の懸念もあります。これらの状況に対してご家庭での助力が必要であり、いろいろな場面で保護者の皆様への負担が増えてしまうことは容易に想像できます。オンライン授業を選択する際にはこうしたネガティブな状況も考慮に入れて上で、子どもにとってより良い学習を保証するためにも、その有効性を十分に検討する必要があります。

○オンライン授業での注意点

オンライン授業を安全かつ有効に活用していくうえでのルールや注意事項は次のようになります。

オンライン授業を受ける上でのルール

☆授業の様子や資料を許可なく撮影、録画しない。(スクリーンショットやレコーディング等)

☆全ての映像や画像は個人情報となるので、取り扱いに十分注意する。特に、SNSなどインターネット上で絶対に共有したりしない。

☆IDやパスワードを関係のない人に教えない。

特に「同時双方向型授業」の際に注意すること

☆授業を受けるときは、カメラをオンにし、マイクはオフ(ミュート)にする。

☆話し合いの時間や先生から許可を受けて話すときだけ、マイクをオンにして話す。その時、できるだけ雑音が入らないようにする。

☆自宅でも気を抜かず、通常の授業と同じ態度で授業にのぞむ。(身だしなみを整える、極端にリラックスした態度をとらない、食事をしないなど)

☆多くの人に見られていることを意識し、身だしなみを整える。また、なるべく背景に余計なものが映らないように気を付ける。

☆表示名は正しく入力する。(例:「6年1組9番久代太郎」なら「6109久代太郎」と入力)

☆他人が不快に思うような発言をしたり、画像を使用したりしない。

☆チャット機能では不要な書き込みをしない。

オンライン授業における情報の管理については、配信者、参加者の両方がルールやモラルを十分に意識することが大切です。情報が外部に漏れることで、部外者が入室したり、参加者のプライバシー権が侵害されたりといった予期せぬトラブルが起こることもあります。授業を受けるうえで、著作権や肖像権にも十分に配慮する必要があります。

久代小学校では起こりうる様々なトラブルを未然に防ぐという観点から、オンライン授業の利用者は児童本人のみに限るものとします。また、利用者と久代小学校の間において、動画コンテンツおよびサービスに付帯するあらゆる権利は、久代小学校が所有および留保します。

よりよいオンライン授業に向けて、ご理解とご協力よろしく願います。